

令和元年度 基本事業評価シート (平成30年度実績評価)

政策 02 健やかに暮らせるまち

施策 04 健康づくりの推進

基本事業 03 食育の推進

主管課： 保健センター

関係課： 指導室、児童福祉課、学校教育課

1 基本事業の目的

対象 (誰, 何を対象としているか) 市民	意図 (どのような状態にしたいのか) 市民が、食に関する正しい知識を身に付け、食事や栄養に気を付けることができるようにする。
--------------------------	---

2 基本事業の成果状況 (意図の達成度を図る成果指標とその動向)

主食, 主菜, 副菜のそろった食事をとる市民の割合 (%) 保健センター					
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
56.20	49.70	53.60	56.00	58.00	60.00
向上指針	上がると良い	(状況) 主食, 主菜, 副菜のそろった食事をとる市民の割合は、昨年度と比較して3.9ポイント増の53.60%となりました。			
対前年度	向上	(原因) 全体では53.6%となっているものの、10歳代が35.0%, 20歳代が23.9%と、特に若い世代の割合が低い状況です。			
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

塩分を控えている市民の割合 (%) 保健センター					
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
37.20	36.70	39.00	39.30	39.60	40.00
向上指針	上がると良い	(状況) 塩分を控えている市民の割合は、昨年度と比較して2.3ポイント増の39.00%となりました。年代が上がるほど割合も高くなる傾向にあります。			
対前年度	横ばい	(原因) 60歳以上は目標値の40%を超えています。10歳代及び20歳代が10%台、30歳代及び40歳代が20%台、50歳代が30%台となっており、若い世代ほど塩分摂取と健康に関する意識が低い傾向です。			
目標達成度	中				
次年度課題	課題としない				

朝食を食べている児童生徒の割合 (%) 指導室					
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
97.90	96.50	97.00	97.50	97.80	98.00
向上指針	上がると良い	(状況) 児童生徒の朝食を取る割合は、昨年度比で0.5%増加しているものの、基準値には0.9%足りず、目標値達成には満たない状況です。			
対前年度	横ばい	(原因) 食育推進計画策定後の平成29年度以降、朝食摂取の割合は、ほぼ横ばい状況です。市内の全小中学校においては、守谷市保幼小中高一貫教育「学びのプラン」の生活スキルとして、「早寝・早起き・朝ご飯」の指導を徹底していくよう訪問の際に各校に呼びかけています。特に、小学校に比べ中学校は数値が低いので、学力の向上と朝食の関係を丁寧に今後も指導を継続していく必要があります。			
目標達成度	中				
次年度課題	課題としない				

基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

